

JR 東日本エネルギー開発株式会社「(仮称) えりも町風力発電事業 環境影響評価方法書」に対する勧告について

令和 6 年 3 月 6 日  
経 済 産 業 省  
商 務 情 報 政 策 局  
産 業 保 安 グ ル ー プ

本日、電気事業法第 46 条の 8 第 1 項の規定に基づき、(仮称) えりも町風力発電事業 環境影響評価方法書について、JR 東日本エネルギー開発株式会社に対し環境保全の観点から勧告を行った。勧告の内容は、別紙のとおり。

また、併せて同条第 3 項の規定に基づき、北海道知事からの意見を勧案するよう、その写しを送付した。

(参考) 当該地点の概要

1. 計画概要

場 所：北海道幌泉郡えりも町  
原動力の種類：風力（陸上）  
出 力：最大 100,000 kW

2. これまでの環境影響評価に係る手続

<計画段階環境配慮書>

計画段階環境配慮書受理	令和 元年 7 月 9 日
環境大臣意見受理	令和 元年 9 月 19 日
経済産業大臣意見発出	令和 元年 10 月 3 日

<環境影響評価方法書>

環境影響評価方法書受理	令和 5 年 9 月 11 日
住民意見の概要等受理	令和 5 年 11 月 10 日
北海道知事意見受理	令和 6 年 2 月 9 日
経済産業大臣勧告発出	令和 6 年 3 月 6 日

問合せ先：電力安全課 一ノ宮、伊藤  
電話 03-3501-1742 (直通)

JR 東日本エネルギー開発株式会社「(仮称) えりも町風力発電事業  
環境影響評価方法書」に対する勧告について

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について

1. 水質の調査に当たっては、土砂の流出や濁水等による影響が懸念されることから、局所集中的な降雨の傾向を踏まえ、適切な調査地点を設定するなど適切に調査、予測及び評価を行うこと。
2. 対象事業実施区域及びその周辺には住宅や配慮が特に必要な施設が存在していることから、風車の影による影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。
3. 動植物調査の踏査ルートについては、土地改変や樹木の伐採を予定する場所を踏まえて設定すること。
4. 哺乳類の捕獲調査については、十分な精度で調査、予測及び評価ができるよう、調査地域内での環境特性ごとに適切な方法で行うこと。
5. 対象事業実施区域及びその周辺は、鳥類への影響を考慮すべき区域を示した「風力発電立地検討のためのセンシティブティマップ」において、シマフクロウなどの分布情報により、特に重点的な調査が必要とされる注意喚起レベルA3及びBに該当するほか、専門家等によりクマタカやタンチョウなどの希少な鳥類の生息やハクチョウ類の渡りのルートとなっている可能性のほか、夜間の渡りが特に多い地域であることが指摘されている。このため、これら希少な鳥類の生息やバードストライク、移動経路の阻害等への影響について、専門家等から助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
6. 典型性注目種については、現地調査の結果を踏まえて候補の見直しを含めて検討の上、適切に選定すること。
7. 対象事業実施区域及びその周辺には、植生自然度の高い植生が存在していることから現地調査により存在する区域を明らかにするとともに、鳥類や哺乳類などが営巣やねぐらなどに利用し得る大径木を含む樹林地を把握した上で本事業の実施に伴う影響を予測、環境保全についての配慮が適正になされているかを検討し、評価すること。

(北海道知事からの意見書の写しを添付)